

第1回「岩ネット」に参加して。 2013年4月13日(土)

今回、初めて岩ネットに参加させてもらった。9時に日和田ゲレンデに集合ということで、交通費をケチる為自転車で向かう事にした。片道55キロ程度なので、3時間もあれば余裕だろうと思っていたら、途中道を間違え初参加にもかかわらず遅刻 なんとか到着し、自転車を担ぎ岩場へ上がっていき、祭りか?と思うほどの賑わいである。早く合流しなければと思いつつもあまりの人の多さに、何処で行っているのかわからず、それっぽいグループを片っ端から覗いていき、なんとか合流することができた。早々に準備を整え、岩の前に立つも、最後に岩を触ったのは登山学校の時以来なので半年ぶりくらい、優しい岩でもまったく登れる気がしない。大丈夫だからと言われビビりながらもトライ。恐怖で腰が引けながらなんとか上まで到達、よし、これで降りられる!と心の中でガッツポーズしロワーダウンで下してもらった。登ることより、降りることの喜びを感じるという、本末転倒な心境にさせるとは恐るべし、岩!! しかし、最初にクライミングを体験した時とちがいミシンを踏まなかっただけ、ちょっとは進歩しているようだ。無事、地に足が着きホッとしていると、「よし、じゃあもう一回いってみようか」と悪魔の囁きが! 「え、いいんですか?」と、いかにもやりたいけど他の人もいるよ的なニュアンスで返答すると、にっこりと笑顔でうなずかれてしまった。恐怖の二本目確定である。一本目の登りを踏まえてアドバイスをもらい、クライムオン。からの~クライムダウン! なんて出来るはずもなく、ロアーダウン。「1回目より登りやすかったでしょ」などと聞かれても、恐怖で頭の中が占領され、登り方など意識する余裕など皆無だ、落ちないとわかっていても恐怖感がぬぐえない。キミは練習すればうまくなるよという言葉を励みにして、もう少し頑張ってみることにした。昼をはさみ、午後は男岩西面での練習。講師が簡単そうにサクサクと登っていき、ロープを設置。午後になって、さらに混み合ってきた「こんなに混んでいるのは初めてだよ」などという声も聞こえてくるほどだ。登っているのにロープが垂らされたり、交差したりすることが結構頻繁に発生。いやいや、危険すぎるだろ、最低限のマナーは守ってもらいたいものだ。自分の番になり、いざスタート位置へ。ふつうに壁だぜ、しかも一番上微妙に出っ張っているしまジ無理っす。などと思いつつも何食わぬ顔でスタート、ゴール手前の出っ張りで、攻略法が解らず、腕がパンプしギブアップ。しかし初回にしてはなかなか登れた事に驚いた。何回かチャレンジし、やはり同じところでつまづいてしまうが、少し楽しくなってきたような気がする...かもしれない。これからも極力参加して、肝を大きくしていきたいと思う。そしていずれはハングなどにも挑戦できるようなレベルに達することができればいいが、その前に挫折してしまわない事を祈ろう。

